



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日 2021年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	89,698	36.5	11,301	533.2	10,464	—	8,719	197.9
2021年3月期第2四半期	65,722	△8.6	1,785	△38.6	751	△60.2	2,927	△21.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 9,199百万円 (281.3%) 2021年3月期第2四半期 2,413百万円 (46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	369.97	—
2021年3月期第2四半期	124.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	275,117	104,434	38.0
2021年3月期	270,760	96,402	35.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 104,434百万円 2021年3月期 96,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2022年3月期	—	95.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 現時点では、2022年3月期の期末配当は未定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	34.3	23,000	241.4	22,000	297.7	19,500	218.0	827.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	23,970,679株	2021年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	404,219株	2021年3月期	404,046株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	23,566,552株	2021年3月期2Q	23,566,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2021年10月29日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日までの6ヶ月間）の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、中国の鉄鋼原料調達先多様化に伴う輸送トンマイルの増加、滞船増の影響で船腹需給はタイトとなり、当中間期を通じ堅調に推移しました。ケープサイズ型撒積船（18万重量トン型）市況は、世界経済の回復に伴う旺盛な鉄鋼需要に支えられた一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に起因する港湾検疫強化、船員交代等で船舶の待機時間が増加し船腹供給が絞られたこともあり、主要5航路平均用船料率では4-6月には平均3万ドル強で推移した後、7-9月は7万ドルを超える水準まで上昇しました。また、パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）は、昨年度から続く穀物の荷動き増、中国の石炭輸入ソース多様化等に伴い市況はほぼ一貫して上昇基調となりました。VLGC（大型LPG運搬船）市況は、世界経済の回復から6月頃までは上昇局面にあったものの、船腹需給は緩和傾向となり総じて低調な推移となりました。このような状況下、長期契約に基づく安定収益部分に加え、昨年度の構造改革で収益力を強化したフリー船隊が市況上昇を享受できたことにより、前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業のうち、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連貨物は、自動車を中心とした製造業や建設部門の回復が牽引し、鉄鋼原料および鋼材輸送部門ともに輸送量は前年同期比で増加いたしました。セメント関連貨物は建設需要増を取り込むことで輸送量は安定し、電力関連貨物も夏季の電力需要増等の要因により輸送量は増加いたしました。タンカーにつきましては、LNG輸送は昨年度からの反動により輸送量は回復いたしました。LPG輸送は夏期需要減退期に民生用需要で低迷する局面もありましたが、全体として輸送量は前年同期を上回りました。このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

燃料油の平均消費価格につきましては、当第2四半期連結累計期間の高硫黄C重油がトン当たり約406ドルとなり前年同期比では約145ドル上昇、適合燃料油がトン当たり約522ドルとなり前年同期比では約150ドル上昇となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で109円33銭と、前年同期比では1円66銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は896億98百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益は113億1百万円（前年同期は17億85百万円の営業利益）、経常利益は104億64百万円（前年同期は7億51百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87億19百万円（前年同期は29億27百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,751億17百万円となり、前連結会計年度末比43億57百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として受取手形及び営業未収金の増加により、150億39百万円増加しました。固定資産は主として船舶の減少により、106億82百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、36億75百万円減少の1,706億83百万円となりました。流動負債は主として前受金の増加により34億37百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により71億12百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加、繰延ヘッジ損益の増加によるその他の包括利益累計額の増加等により、前連結会計年度末に比べ80億32百万円増加し1,044億34百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	150,000	186,000	36,000	24.0%
営業利益	19,000	23,000	4,000	21.1%
経常利益	17,500	22,000	4,500	25.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	15,000	19,500	4,500	30.0%

※前回予想（2021年7月30日）及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=110円	US\$=110円
燃料油価格（高硫黄C重油）	US\$460/MT	US\$460/MT
燃料油価格（適合燃料油）	US\$570/MT	US\$570/MT

第2四半期連結累計期間の業績、および第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2021年7月30日付
けで公表した2022年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。第3四半期以降の前提条件につきま
しては、対米ドル円換算率を110円、燃料油価格は高硫黄C重油価格をトン当たり460ドル、適合燃料油価格をトン
当たり570ドルと予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,663	31,228
受取手形及び営業未収金	19,779	27,581
棚卸資産	7,454	9,500
前払費用	2,947	3,974
デリバティブ債権	92	355
その他流動資産	3,206	3,540
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	61,109	76,148
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	196,656	185,883
建物（純額）	406	393
土地	703	703
建設仮勘定	650	1,096
その他有形固定資産（純額）	143	130
有形固定資産合計	198,558	188,205
無形固定資産		
2,216		2,053
投資その他の資産		
投資有価証券	3,446	3,564
長期貸付金	26	25
繰延税金資産	2,903	2,589
退職給付に係る資産	1,955	1,972
その他長期資産	546	561
投資その他の資産合計	8,876	8,711
固定資産合計	209,651	198,969
資産合計	270,760	275,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	10,624	10,147
短期借入金	29,990	27,502
リース債務	349	347
未払金	201	243
未払費用	234	214
未払法人税等	610	2,618
前受金	1,191	5,198
賞与引当金	414	420
役員賞与引当金	74	13
デリバティブ債務	2,484	2,350
その他流動負債	3,760	4,315
流動負債合計	49,931	53,368
固定負債		
長期借入金	114,488	108,147
リース債務	4,380	4,207
繰延税金負債	1,366	640
特別修繕引当金	4,049	4,191
退職給付に係る負債	143	130
その他固定負債	0	0
固定負債合計	124,427	117,315
負債合計	174,358	170,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	70,347	77,899
自己株式	△995	△995
株主資本合計	96,833	104,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	911	1,030
繰延ヘッジ損益	△1,655	△1,278
為替換算調整勘定	△85	△53
退職給付に係る調整累計額	399	350
その他の包括利益累計額合計	△431	49
純資産合計	96,402	104,434
負債純資産合計	270,760	275,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	65,722	89,698
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	61,155	75,637
売上総利益	4,567	14,061
一般管理費	2,783	2,760
営業利益	1,785	11,301
営業外収益		
受取利息	13	2
受取配当金	36	44
持分法による投資利益	17	3
為替差益	-	246
受取補償金	200	-
その他営業外収益	53	114
営業外収益合計	319	409
営業外費用		
支払利息	727	694
為替差損	316	-
デリバティブ損失	74	544
その他営業外費用	236	6
営業外費用合計	1,353	1,245
経常利益	751	10,464
特別利益		
固定資産売却益	3,030	363
特別利益合計	3,030	363
特別損失		
投資有価証券売却損	6	-
特別損失合計	6	-
税金等調整前四半期純利益	3,776	10,827
法人税等	849	2,108
四半期純利益	2,927	8,719
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,927	8,719

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,927	8,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	119
繰延ヘッジ損益	△527	377
為替換算調整勘定	6	△1
退職給付に係る調整額	△30	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	33
その他の包括利益合計	△514	480
四半期包括利益	2,413	9,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,413	9,199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,776	10,827
減価償却費	8,701	8,921
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△60
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	26	138
退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債の増減額	△95	△99
受取利息及び受取配当金	△49	△46
支払利息	727	694
為替差損益 (△は益)	107	△20
持分法による投資損益 (△は益)	△17	△3
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△3,030	△363
投資有価証券売却損益 (△は益)	6	—
営業債権の増減額 (△は増加)	2,507	△7,802
棚卸資産の増減額 (△は増加)	483	△2,046
営業債務の増減額 (△は減少)	54	△477
未払金の増減額 (△は減少)	157	74
前受金の増減額 (△は減少)	202	4,007
その他	△56	△311
小計	13,442	13,438
利息及び配当金の受取額	155	101
利息の支払額	△744	△704
法人税等の支払額	△324	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,529	12,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
船舶の取得による支出	△17,020	△1,017
船舶の売却による収入	3,434	3,028
その他の固定資産取得による支出	△102	△29
その他の固定資産売却による収入	4	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	9	—
その他	1	△328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,675	1,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	△300
長期借入れによる収入	36,112	2,715
長期借入金の返済による支出	△23,303	△11,322
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△799	△1,180
その他	△176	△175
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,133	△10,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,895	3,565
現金及び現金同等物の期首残高	19,753	27,613
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,649	31,178

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	55,271	10,452	65,722	—	65,722	—	65,722
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	188	190	△190	—
計	55,271	10,454	65,725	188	65,913	△190	65,722
セグメント利益	1,179	596	1,775	8	1,783	1	1,785

- (注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	77,933	11,765	89,698	—	89,698	—	89,698
外部顧客への 売上高	77,933	11,765	89,698	—	89,698	—	89,698
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	185	190	△190	—
計	77,933	11,769	89,702	185	89,887	△190	89,698
セグメント利益	10,702	589	11,291	8	11,299	2	11,301

- (注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。